

地域労働運動の重要性を再確認 第11回東京地評地域労働運動交流集会

東京地評は8月3日、第11回地域労働運動交流集会を、ラパスホールで開催しました。今回のテーマは、「地域労働運動の重要性」を再確認し、様々な取り組みに学んで、地域でどう仲間とつながって運動をつくっていくかです。23地域1部会、事務局等より51人が参加しました。



壇上は講師の江口健志氏
(東京学習会議常任理事)

「地域労働運動交流集会」は、毎年、地域選出の副議長と幹事で実行委員会を作り、内容や特別報告等を検討し開催しています。今年も3回の実行委員会を重ね準備してきました。その後の交流では、「1交流集会のスタートは、500円の議会陳情を出した。月一回ニュースを発行（武三地区労）、千代田総行動を展開して争議を解決している」（千代田区労協）、「新しい世田谷をすすめる会を作り、区長に要求をぶつけている」（世田谷区労連）、「連合系を含めた労組4団体で、労働の課題でも共同の取り組みが出来るようになってきた」（葛飾区労連）、「運動の継続に特効薬はない。現役者挨拶し、秋山正臣・公務労組連絡会事務局長、民間を代表して高松栄次郎・東京医労連書記次長より激励の挨拶がありました。」

交流会のスタートは、500円の議会陳情を出した。月一回ニュースを発行（武三地区労）、千代田総行動を展開して争議を解決している（千代田区労協）、「新しい世田谷をすすめる会を作り、区長に要求をぶつけている」（世田谷区労連）、「連合系を含めた労組4団体で、労働の課題でも共同の取り組みが出来るようになってきた」（葛飾区労連）、「運動の継続に特効薬はない。現役者挨拶し、秋山正臣・公務労組連絡会事務局長、民間を代表して高松栄次郎・東京医労連書記次長より激励の挨拶がありました。」

大幅賃上げなど人事院へ要請

東京春闘共闘会議・東京地評公務部会



人事院に向けて要求をコール
(7/19 人事院前)

東京春闘共闘会議・東京地評公務部会は、7月19日（金）10時より、人事院勸告前に、「2019年人事院勸告にむけた重点要求書」をもって、人事院要請を実施。①公務員賃金の大幅引き上げ、②非常勤職員制度の抜本改善、③高齢期雇用の水準引き上げ、④労働時間の短縮・休暇制度、⑤労働基本権の確立、⑥健康・安全確保・母性保護等について要求しました。

東京地評争議支援総行動。今回は、2つのコースを果たすことを厳しく求めていきます。また、裁判所が具体的な労働実態などをきちんと受け止め、働く者の権利を擁護する公平な判決を行うよう求めます。労働者の権利侵害をやめさせ、地域、国民、労働者、環境などに対する社会的責任（CSR）を強く呼びかけます。

横田基地オスプレイ 配備撤回求め院内集会

昨年10月、米軍横田基地に特殊作戦機CV22オスプレイが配備されました。沖縄・嘉手納基地配属の第353特殊作戦群の分遣隊として配備されたもので、7月からは新たな中隊として、太平洋と朝鮮半島の特殊作戦の任務にあたっています。指揮する中隊長は「即応態勢を取り続ける」とし、いつでも日本から暗殺・拉致など特殊作戦を遂行できると認めています。平和憲法を持つ日本にはあってはならない存在です。オスプレイ配備撤回と基地撤去を求める運動は都内で粘り強く続けられています。基地の地元・福生市では定例の座り込み抗議行動（撤去の会）が、参院選直後の7月30日には、配備撤回署名提出行動（オスプレイ反対東京連絡会）が実施されました。いずれの行動でも、オスプレイがこの間、学校や保育園、福祉施設、病院や住宅密集地を低空で昼夜問わず訓練し、機体後部にある重機関銃をむけたまま飛行している実態が告発されました。



日本のどこにもオスプレイいない
参院議員会館で署名提出（7/30）

秋には集会・行動が目白押しです。横田市民集会（10/5、福生市民会館）、オスプレイ配備撤回集会（11/24、多摩川中央公園）、横田座り込み行動（毎月第3日曜日午後、福生市内）です。全都で決起して行動・集会を成功させ、配備撤回と基地撤去を実現させましょう。

9・19東京地評争議支援総行動

参加を呼びかけます

7月24日、東京労働会館5階会議室で開催。労働相談員を中心に14人が参加。①東京地評労働相の状況、②事件報告、ハラスメントを巡る立法の状況と「アシックスパタハラ事件」、③最近の労働審判報告等を行い、弁護団と懇談・交流しました。オリパラ都民の会第9回提言討論会
7月27日、東京都生協連合会議室にてオリパラ都民の会第9回提言討論会が開催され、31人が参加しました。オリパラ都民の会・和食昭夫共同代表の開会あいさつがあり、13年連続で5万件を超え、相談内容では職場の嫌がらせが最多となりました。相談は、「セクシュアルハラスメント」なども含めた「人間関係」に関する労働相談も増加傾向が続いています。7月30日、建交労全国青年部は、反核・平和を訴えながら、東京・広島間をトラックパレードする「反核トラックキャラバン2019」の出発式を都庁前にて開催し、38人が参加しました。建交労全国青年部・菅野副部長の主催者あいさつがあり、東京地評青年協・千保法之議長が連帯のあいさつをしました。集会後、キャラバン隊は、神奈川県へ向かい、川崎市役所前で宣伝行動を行いました。ノーマ・ミナマタ東京支援連 地裁前宣伝
8月5日、ノーマ・ミナマタ東京訴訟支援連は、すべての水俣病患者の救済を求め、東京地裁